

1 サウンディング調査について

『民間活力の導入』に向け、サウンディング調査を下記のとおり実施している。

- (1) アンケート調査：令和4年8月22日から9月9日まで実施 【実施済】
- (2) ヒアリング調査：令和4年9月27日から順次実施している 【実施中】

また、サウンディング調査においては、民間事業者が持つ知恵やノウハウを引き出すため、『必須の施設』『任意の施設』と区分し、調査を行っている。

今回、アンケート調査及びヒアリング調査から得られた民間事業者の意見について、とりまとめの中間報告を行う。



サウンディング調査における事業実施条件

2 サウンディング調査中間報告等について

(1) アンケート調査 【実施済】

- ・野々市市ホームページでの公表
- ・いしかわ地域プラットフォームでの広い周知
- ・業務受託事業者からの協力依頼

- ・27社からの回答を得た
- ・多くの業種から回答があり、『建設』『運営』など、その専門の事業者からの意見をいただいている

業種別回答数

業種	事業者数
土木・建設	8
コンサルタント	5
スポーツメーカー	4
金融・不動産	4
その他	6
計	27

(2) ヒアリング調査 【実施中】

- ・アンケート調査をもとに、ヒアリングを実施中（17社実施済 10/12時点）
- ・対面式で行うことで、より詳細な意見をいただいている

● アンケート調査・ヒアリング調査での意見（抜粋）

	建設事業者からの意見 (主に土木・建設事業者)	設計事業者からの意見 (主にコンサルタント)	運営事業者からの意見 (主にスポーツメーカー)
導入施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・立体駐車場について、コスト増大となるため、ゆったりとした平面駐車場としてはどうか ・既存体育館の改修について、子どもの遊び場だけでは広すぎるため、交流施設を併設してはどうか ・トレンドであるアーバンスポーツを導入してはどうか(スケートボード、3x3バスケット) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代が利用しやすいよう、託児スペースを設けてはどうか ・広い公園をうまく活用したランニングコースを設けてはどうか ・トレンドであるアーバンスポーツを導入してはどうか(スケートボード、3x3バスケット) 	<ul style="list-style-type: none"> ・立体駐車場について、コスト増大となるため、ゆったりとした平面駐車場としてはどうか ・屋外スポーツゾーンについて、導入機能の整理や再配置の検討が必要ではないか ・周辺自治体などの類似施設との差別化が必要ではないか
事業者提案エリアについて	<ul style="list-style-type: none"> ・合宿ができる宿泊施設があるとよい ・スポーツ施設や市民レクリエーションの場など、公園機能の拡充が望ましい 	<ul style="list-style-type: none"> ・合宿ができる宿泊施設があるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の拡張を行い、余裕を持った施設配置・利用者動線の確保が望ましい
イニシャルコスト・ランニングコストの縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・材料などの要求水準に自由度を持たせることで、民間事業者のノウハウが活用可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設配置に自由度を持たせることで、民間事業者のノウハウが活用可能 ・必須の機能をできる限り限定することで、民間事業者のノウハウが活用可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の人員ポスト(正社員の配置など)を要求せず、DXの推進や機械化などを可能とする
稼働率向上のアイデア	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外の学生やクラブチームの合宿利用などの誘致 ・スポーツに限らないイベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日に未就学児・親子・主婦・高齢者などを対象としたプログラムの展開(スクール、教室など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設のスポーツの専門性を求めず、柔軟な活用を認めることで、多種多様なスポーツの開催が可能となる

アンケート調査・ヒアリング調査で得られた意見については、

- ・市が目指す姿に適しているか（健康・交流・防災、地域の賑わい創出など）
- ・体育施設整備実施計画に民間事業者の意見をどこまで反映させることが可能か

などの点について、しっかりと見極めながら今後の検討を進めていく必要がある。

3 今後のスケジュールについて

- ・今回の検討委員会での意見について、計画への反映、庁内ワーキンググループでの共有を行う
- ・事業に関心の高い事業者に対して再度のヒアリングを実施し、より詳細な意見をいただく

第2回以降の検討委員会では

- ・公園に導入すべき機能
- ・公園区域及びゾーニング、動線
- ・施設整備及び管理運営方法
- ・民間事業者意向調査最終とりまとめ

⇒これらを踏まえた基本計画（案）の提示を予定